

## 令和3年(2021年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：茨城県阿見町

協定締結日：2019年3月18日

活動状況：継続中

連携先窓口：農業振興課（担当：浅野裕治様）

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：小川繁幸（自然資源経営学科）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：吉田穂積（北方圏農学科）、小川繁幸（自然資源経営学科）、穂坂賢（醸造科学科）、入江彰昭（地域創成科学科）、秋山聡子（栄養科学科）、平野繁（農学科）、望月洋孝（国際食農科学科）

活動目的：阿見町の地域活性化と大学研究・教育の拡充にむけて、多角的な視点から連携事業を実施する。

活動内容・成果：

吉田穂積（北方圏農学科）

→ 馬鈴薯を調査品目として実証実験を実施した。結果として、処理区における生育の促進が認められたものの、直接的に収量増収に寄与する結果は表なかったものの、生産者からは、効果を実感する声が寄せられた。

小川繁幸（自然資源経営学科）

→ 中長期的な戦略を見据えた阿見町農業振興計画を策定した。具体的には、農業を取り巻く状況と課題を明らかにした上で、町として講じるべき施策を、担い手の育成、産地化、特産品づくり、農地の保全と集積、新規就農者の確保・育成等に大きく分類し、これまで推進してきた施策の再検討を踏まえ、町の実情に即した実現可能な振興計画を策定した。  
また、阿見町産米を活用した地酒・特産品の開発に関するマーケット調査やアドバイス(地酒・特産品開発に関する有識者との意見交換会への参加など)、阿見町オリジナル酒【桜翔】のPVの作成も実施した。

#### 穂坂賢（醸造科学科）

- コロナ禍における商業振興・地域振興を図る観点から、町内産米の「ミルクイーン」と東京農大の有する花酵母（薔薇）「プリンセスミチコ」の掛け合いによる、オリジナル酒【桜翔】の醸造と販売に取り組む。
- 阿見町花を活用したオリジナルの花酵母の採取実験にも取り組み、ツツジからの酵母採取に成功した。また、桜翔を醸造する際に発生した酒粕を活用し、新たな6次化商品の開発にも取り組んだ。

#### 入江彰昭（地域創成科学科）

- 竹林を活用した地域づくりにむけて、モデル圃場を選定し、7・9・11月の3回にわたる伐採整備作業と県単補助事業による整備を組み合わせることにより、本来の美しい竹林に再生することができた。
- また、公共の森林公園である「ふれあいの森」に関する再整備に関しても、現地調査を始め、利用者からのアンケート調査を踏まえ、整備計画書の（案）を取りまとめた。

#### 秋山聡子（栄養科学科）

- 令和元年度において提案した阿見町産レンコンパウダーを活用した高齢者・介護施設向けの鰯つみれの機能性成分の調査・分析を行った。また、町で開発した「レンコンパスタ」を活用したメニュー開発を目的に、料理研究家との連携により、「ミニトマトパスタ」・「納豆パスタ」を含めた13種類のレシピを掲載したレシピ集を作成した。

#### 課題・改善点：

- コロナウイルスの影響により連携事業が鈍化・実施できないものが生じた。
- 特に、下記の事業については実施できなかった。

#### 平野繁（農学科）、望月洋孝（国際食農科学科）

- 学生のファームステイ

以上